

一級自動車工学科、自動車整備科、自動車整備・電子工学科、自動車整備・加圧工科、国際自動車整備科						2023年度 授業計画	
時期	2年C巡	単元	実習	教科名	電装品整備2		
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産4級電装	発行日	2022年12月13日		
			日産3級電装				
総時限	23(36)			教科担当	教科担当		
1. 実務経験のある教員による授業科目							<input checked="" type="radio"/> 該当 <input type="radio"/> 非該当
自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の分解・組立・点検等について指導する。							
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)							
1. 電位測定、電気信号の観測や点検が車両で出来る。(パワーウィンドウ) 2. 配線図集より必要な回路を抜き出し、電気回路が読める。(ESMを使用) 3. 車両に関する電気装置の脱着が出来る。(パワーウィンドウ・レギュレータ脱着) 4. オルタネータの脱着が車上でできる							
3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)							
1. 配線図集より回路を抜き出し、回路が読むことが出来る。また、回路図上での電位測定の予測ができる。(電動ミラーにて実) 2. サーキット・テストで該当箇所の測定を行い、測定表の作成ができる。 3. 部品の脱着を通じて車両を取扱う上での注意点、車両チェックをマスターする。 4. 日産3級の電装分野をマスターする。							
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)							
実技試験60%、筆記試験10%、レポート15%、行動評価15%の合計が60(70)%以上を合格とする。							
5. 準備学習							
TS3級(電装)、TS4級(電装)、2級2輪自動車の教科書事前に読み予習を行う。							

時期	2年C巡	単元	実習	教科名	電装品整備2
----	------	----	----	-----	--------

7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	エンジン始動	周囲に声掛けを行い、確認してから始動する事 窓越しの始動は禁止する。		
2	配線作業	配線のつなぎ合わせに間違いがないこと。		
3	輪止め	接地している車両には、駆動輪に対して輪止めをおこなう。	不意に車が動き出し、構内で接触事故を起こした	

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場					座学教室				
		C26		Z34	黒板				
		C26		Z34					
		C26		Z34					
		C26		Z34					
		C26		Z34					
		C26		Z34					
		C26		Z34					